## 平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

	事務事業	<b>美名</b>	通学	路標識整備:	事業						担当	部	教育委	員会事務局
	会計区	分	一般:	会計			事業	類型	_	·般	担当	i課	庶務訓	 果
	事業期	間	平月	成12年度以	前	~	平	成304	年度じ	人降	担当	係	庶務係	<b></b>
	総合計画 分野別計	主目的	4	教育文化		16 学校	教育		1	教育	を支える	5学習	環境を	を整備する
	画	副目的												
	予算区	分	款	10	項	2	目	1	1	大	4		毌	2
	根拠法令·個	別計画												
			0	市が直接実	施·運	営		地域值	主民組	1織		一部	又は全	部委託
事	実施•運 方法			指定管理・	外郭団	体	名称:	:						
				NPO・そ	の他	1	名称							
業	<b>-</b> 44													
	目的(対象をど			運転士に対し			との認	間能と注	È意を	喚起し	、児童	生徒(	の通学	時におけ
の	な状態にすか)	るの	る女≘	全性を向上さ	どせる。	)								
概														
要			洛巴	路の要所に	3. 当 以	7 +西=	₽ ₩	<b>注</b> 字	歩 記 ! -	- 7, Li	1.4白士.司	ᅠᅩᆍᅷ	· z – L	
	内容		輌運	転士の注意	を喚起	ける。								
	(手段)			機関と協議し 実施する。	人有效	効性の高い	通学路	格を選え	定し通	学路模	票識の新	盺設、	みどり	線設置工
				た通学路標	票識は	速やかに取	な替工:	事を行	う。					
	受益者負	担	無	内容										

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
		直接	経費	千円	2,303	1,530	3,050
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20
П		正嶼貝	人件費	千円	1,073	1,073	1,073
	費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
ス		ての心戦員	人件費	千円	0	0	0
		費用	合計	千円	3,376	2,603	4,123
7		対前	年比	%		77.1	
		一般	財源	千円	3,376	2,603	4,123
	財源	国•県	支出金	千円	0	0	0
		その他	也財源	千円	0	0	0

		活動指標名	単位		H21	H22	H23
		通学路標識新設、建替、移設、撤	基	目標		27	27
	活	去、看板取替数	举	実績	24	30	
	動指標	通学路みどり線設置	箇	目標	2	1	1
業	標	<u> 通子師がとり</u>    秋以直	所	実績	1	1	
				目標			
				実績			
績		成果指標名	単位		H21	H22	H23
	成	児童生徒の通学路における交通	人	目標	0	0	0
	成果指標	死亡事故	ζ	実績	0	0	
	標			目標			
				実績			

	事業目的の 達成状況	登下校時 ・みどり線記 小牧小学	の希望により、市内30ケ所の通学路標識 の安全確保につとめることができた。	
事業の自己評	事業を廃止・ 休止したとき の影響		、その年度ごとに小中学校からの申し出げ を行うことができず、車輌運転者に正しく)	
価	判 定	Α	市が実施(現状維持又は充実)	
(一次評価 )	判定理由	があり、また	、市内一部に偏ることなく、全体としての/ と、その効果は市民以外にも及ぶものであ ため、市が実施することが望ましいと考え	ることから、非常に公共性の強い
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)		板の設置等希望件数及びみどり線設置えがら、設置地域が偏らないように配慮して	

=	判	定	Α	市が実施(現状維持又は充実)
次評価	判定	理由	一次評価の	)とおり